

# DriveLog Viewer

---

## 取扱説明書

弊社ドライブレコーダーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書を良くお読みいただき、正しくお使いください。

# 目次

使用上のご注意 .....	3
録画について .....	3
SD カードについて .....	3
記録データの構成 .....	4
SD カード内のフォルダー構成 (STX シリーズ) .....	4
SD カード内のフォルダー構成 (STM シリーズ) .....	5
SD カード内のフォルダー構成 (DR シリーズ) .....	6
DriveLog Viewer の使い方 .....	7
インストール .....	7
DriveLog Viewer のアップデート .....	8
録画ファイルを開く .....	9
画面の説明 .....	10
録画ファイルを再生する .....	12
録画ファイルの種類 .....	12
再生する .....	14
ファイル形式を変換する・特定の場面をキャプチャする .....	15
マップ .....	16
自転車位置表示変更メニュー .....	16
マップ表示メニュー .....	17
加速度円グラフ .....	19
G センサーの加速度計測値を確認する .....	19
設定を変更する .....	20
ドライブレコーダーの設定 (STX シリーズ) .....	20
ドライブレコーダーの設定 (STM シリーズ) .....	21
ドライブレコーダーの設定 (DR シリーズ) .....	22
ソフトウェアの設定 .....	23
付録 .....	25

## 使用上のご注意

### 録画について

- ・本機で録画された映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切の責任を負いません。
- ・LED 式信号機は、録画映像では点滅する場合や色の判別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像や周辺の車両情報から判断してください。それにより発生した損害については、弊社は一切の責任を負いません。
- ・録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。

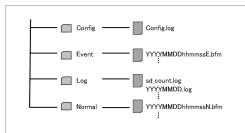
### SD カードについて

- ・録画に使用する SD カードは、他の目的と共用しないでください。録画に使用された SD カードは、専用のファイル形式となりますので、PC 等を使用して SD カードに本機での録画映像以外のデータが書き込まれた場合に、録画データが消去されてしまいます。
- ・SD カードリーダーライターは、使用する SD カードの容量に応じたものを使用してください。容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用すると、データの破損等により読み込みや書き込みができなくなる恐れがあります。
- ・SD カードは NAND 型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、1 週間に 1 回程度フォーマットを行ってください。(STM シリーズを除く)
- ・SD カードは消耗品ですので、6 ヶ月毎に新品への交換をしてください。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合や SD カードエラーになり使用できない場合があります。
- ・SD カードの消耗に起因する故障または損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
- ・重要な記録データは、パソコンや DVD などの別媒体での保管をお勧めします。
- ・SD カードは必ず同梱品または弊社別売の SD カードを使用してください。指定以外の SD カードを使用すると、正常に録画できない場合があります。
- ・本機を使用中にデータが消失した場合でも、データ等の補償について弊社は一切の責任を負いません。
- ・このビューアは、解析機能を有しているため、解析データ容量によっては、パソコンの動作が遅くなる事があります。

## 記録データの構成

記録データは、SD カードおよび eMMC（本体メモリ）に以下のような構成で保存されます。

### SD カード内のフォルダー構成（STX シリーズ）



YYYYMMDDhhmssE.bfm ..... 暗号化された動画ファイルです。

YYYY：西暦 4 桁

MM：月

DD：日

hh：時（24 時間表示）

mm：分

ss：秒

E/N：イベント映像 / ノーマル映像

録画開始時間

YYYYMMDD.log ..... 動作履歴が記録されたログファイルです。

YYYY：西暦 4 桁

MM：月

DD：日

sd\_count.log ..... SD カードに録画された日時と録画回数が記録されたログファイルです。

Config.log ..... 各種設定値が記録された設定ファイルです。

## SD カード内のフォルダー構成 (STM シリーズ)



YYYY-MM-DD-HHh-MMm-SSs\_F\_event.mp4..... 暗号化された動画ファイルです。

YYYY：西暦 4 桁

MM：月

DD：日

HH：時 (24 時間表示)

MM：分

SS：秒

録画開始時間

F/R：フロントカメラ映像 / 室内カメラ映像

event/normal：イベント映像 / ノーマル映像

YYYYMMDD.log..... 動作履歴が記録されたログファイルです。

YYYY：西暦 4 桁

MM：月

DD：日

Config.txt ..... 各種設定値が記録された設定ファイルです。

## SD カード内のフォルダー構成 (DR シリーズ)



ch1\_\*\*\*\*\_YYYYMMDD\_HHMMSS\_SSS\_SSSSS\_N.avi ..... 暗号化された動画ファイル  
です。

ch1/ch2：フロントカメラ映像 / 室内カメラ映像

\*\*\*\*：動画ファイルの作成 No.

YYYY：西暦 4 桁

MM：月

DD：日

HH：時 (24 時間表示)

MM：分

SS\_SSS：\*\*.\*\* 秒

SSSSS：総録画時間 (\*\*.\*\* 秒)

E/N：イベント映像 / ノーマル映像

録画開始時間

log.txt ..... 動作履歴が記録されたログファイルです。

Config.dat ..... 各種設定値が記録された設定ファイルです。

# DriveLog Viewer の使い方

## インストール

### 1. STX シリーズ /STM シリーズ：

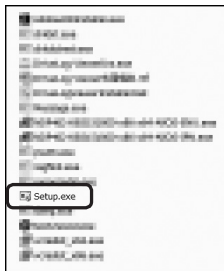
同梱の SD カードをパソコンの SD カードスロットに挿入する。パソコン本体に SD カードスロットが無い場合は、SD カードリーダーライターをパソコンに接続し、同梱の SD カードを SD カードリーダーライターに挿入する

DR シリーズ：

弊社 web サイトよりインストーラーをダウンロードする

[http://www.silver-i.co.jp/other\\_page/dvr-swtop.html](http://www.silver-i.co.jp/other_page/dvr-swtop.html)

### 2. インストーラ〔Setup.exe〕が入ったフォルダーをデスクトップ等にコピーする



### 3.〔Setup.exe〕をダブルクリックし、インストールを開始する

### 4. インストールの環境設定を行う

### 5. インストール完了

手順4で〔インストール後にアプリケーションを起動〕にチェックを付けていた場合、自動で DriveLog Viewer が起動します。

#### 必要環境

OS：Windows 7、8.1、10

CPU：2.33 GHz 以上推奨、x86 互換

メモリー：2 GB 以上

HDD 空き容量：SD カードの容量以上

※本体に SD カードを挿入して動作を開始すると、SD カード内のデータは全て削除されます。本体をご使用になる前に、DriveLog Viewer をパソコンにインストールしてください。

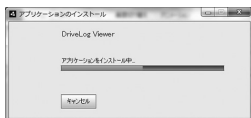
削除してしまった場合は、手順1の弊社ウェブサイトよりダウンロードしてください。

# DriveLog Viewer のアップデート

DriveLog Viewer は不定期に自動でアップデートのチェックを行います。  
※アップデートのチェックを行うためには、インターネット接続環境が必要です。

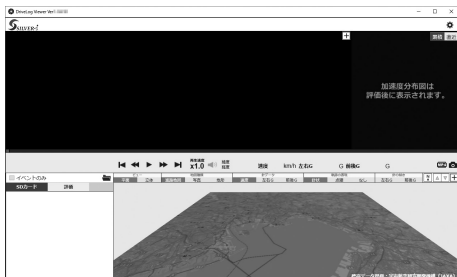
## 1. DriveLog Viewer の自動アップデートチェック

DriveLog Viewer を起動すると、自動でアップデートのチェックが行われます。  
アップデートがあった場合、インストール確認画面が表示されます。  
〔置換〕をクリックすると、アップデートが開始されます。



## 2. アップデート完了


アップデート完了後、自動で DriveLog Viewer が起動します。





## 録画ファイルを開く

1. DriveLog Viewer を起動する
2. フォルダを指定する

右上の  をクリックします。

SD カードドライブを選択し、〔フォルダの選択〕をクリックします。

※最初に開くフォルダを指定できます。

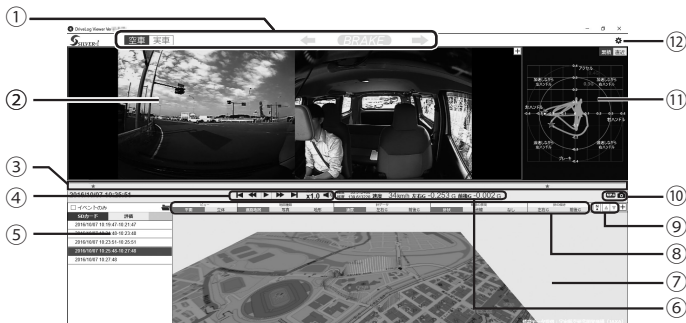
(24 ページ『作業用フォルダ変更』を参照)

3. 録画ファイルリスト表示エリアに、SD カード内の録画ファイルが表示されます。



## 画面の説明

※録画される機種により、表示される項目は異なります。



- ① ブレーキ、ウィンカー表示、空車・実車表示（車種選択：タクシーのみ）**  
実際にブレーキやウィンカーを操作したタイミングで点灯、点滅します。  
(STX シリーズのみ)
- ② 映像表示エリア（フロント&室内）**  
録画された映像を表示します。左がフロントカメラ（またはバックカメラ）、右が室内カメラです。  
危険運転と判断されたポイントが存在する場合、シークバーおよび加速度計測値の軌跡上に表示されている★印と連動して、映像表示エリアの外枠が赤色で点灯します。
- ③ シークバー**  
再生中の映像の進行状況を表示します。危険運転と判断されたポイントが存在する場合、シークバーの下に★印が表示されます。
- ④ 映像再生メニュー**  
再生やコマ送りなどの操作を行います。
- ⑤ 録画ファイルリスト表示エリア**  
SD カードから読み込んだ、再生する録画ファイルリストを表示します。

## ⑥ 緯度 / 経度、走行速度、前後 / 左右 G 値表示

再生時点での自車の緯度 / 経度、走行速度 (STX シリーズのみ)、前後 / 左右 G を表示します。

緯度 / 経度および走行速度は、GPS の測位が完了後に表示されます。

※ STM シリーズ、DR シリーズは、カメラ映像内に走行速度が表示されます。

### STM シリーズ



### DR シリーズ



## ⑦ マップ表示エリア

録画中に自車が移動した軌跡をマップに表示します。

※地図を表示させるためにはインターネット接続環境が必要です。

## ⑧ マップ表示メニュー

マップの表示方法を選択します。

## ⑨ 自車位置表示変更メニュー

マップの拡大倍率、方向および自車の表示位置を変更します。

## ⑩ ファイル操作メニュー

録画ファイルの変換、画面キャプチャ保存を行います。

## ⑪ G センサー加速度円グラフ / 設定画面表示エリア

動画ファイル内での加速度計測値の軌跡を円グラフ内に表示します。危険運転と判断されたポイントが存在する場合、軌跡上に★印が表示されます。また

⚙️ をクリックした場合に、設定画面を表示します。

## ⑫ 設定変更ボタン

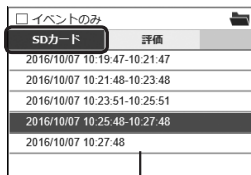
ドライブレコーダー本体と DriveLog Viewer の設定変更を行います。

## 録画ファイルを再生する

### 録画ファイルの種類

[SD カード] :

録画ファイルリストに、SD カード内の録画ファイル一覧が表示されます。



SDカード	評価
2016/10/07 10:19:47-10:21:47	
2016/10/07 10:21:48-10:23:48	
2016/10/07 10:23:51-10:25:51	
2016/10/07 10:25:48-10:27:48	
2016/10/07 10:27:48	

録画ファイルリスト表示エリア

**E** : イベント映像

G センサーしきい値を超えた加速度計測ポイントが存在するファイルです。

STX シリーズ :

イベント映像とノーマル映像の両方で保存されています。イベント映像は、イベント発生時の前後各 15 秒の計 30 秒で保存されます。

STM シリーズ / DR シリーズ :

イベント発生時の前 10 秒と後 20 秒の計 30 秒で保存されます。後 20 秒は、イベント映像のみ保存されます。ノーマル映像としては保存されません。

※G センサー感度の設定は変更できます。(20 ページ参照)

STX シリーズの場合、X 軸 / Y 軸 / Z 軸で個別に設定できます。



SDカード	評価
2017/03/14 7:07:00-07:07:14	
2017/03/14 7:07:05-07:07:35	E
2017/03/14 7:07:34-07:07:44	
2017/03/14 7:07:34-07:08:04	E
2017/03/14 7:08:03-07:09:03	
2017/03/14 7:09:03-07:10:02	
2017/03/14 7:10:02-07:11:01	
2017/03/14 7:11:01-07:12:01	
2017/03/14 7:12:01-07:13:01	

〔評価〕：

同日中の連続した録画ファイルを、運行単位で統合します。

各運行毎に、★印（危険運転判定）およびイベント映像の有無を確認できます。

※フォルダー内のファイルを読み込んでから結合するため、処理に時間がかかります。パソコンの性能にもよりますが、目安として1GBあたり約1分かかります。付属のSDカード16GBいっぱいにはデータが記録されている場合は、約16分になります。

●：評価結果

運行内に★印（危険運転判定）が存在している場合、リストに赤丸が表示されます。

★印が存在しない場合は、青丸が表示されます。

★：危険運転映像

危険運転と判断される基準を超えた、加速度計測ポイントが存在するファイルです。ノーマル映像として保存されています。

危険運転と判断される基準値は、〔★印運転基準値設定〕として設定できます。（23 ページ参照）

〔イベントのみ〕：

Event フォルダー内の録画ファイルのみを表示します。

SDカード	評価
2016/10/07 10:19:47-10:21:47	
2016/10/07 10:21:48	
2016/10/07 10:23:51	
2016/10/07 10:25:48	
2016/10/07 10:27:48	

データによっては評価に時間を要する場合があります。  
実行しますか？  
(評価中は他の操作は行えません)

SDカード	評価
2017/03/14 00h17m15s	
2017/03/14 7:07:00-07:07:04	
★ 2017/03/14 7:07:05-07:07:34	ⓔ
★ 2017/03/14 7:07:34-07:08:04	ⓔ
★ 2017/03/14 7:08:03-07:09:03	
2017/03/14 7:09:03-07:10:02	
★ 2017/03/14 7:10:02-07:11:01	
2017/03/14 7:11:01-07:12:01	
2017/03/14 7:12:01-07:13:01	
2017/03/14 7:13:01-07:14:01	
★ 2017/03/14 7:14:01-07:15:00	

SDカード	評価
2016/10/07 10:23:10-10:23:40	ⓔ
2016/10/07 10:25:19	ⓔ
2016/10/07 10:27:01	ⓔ
2016/10/07 10:27:47	ⓔ

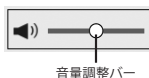
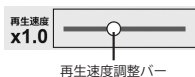
## 再生する



▶ をクリックすると再生が始まります。



- ◀: 前ファイル再生
- ◀◀: 早戻し
- ▶: 再生
- ||: 停止
- ▶▶: 早送り (コマ送り)
- ▶: 次ファイル再生
- x1.0**: 再生速度
- 🔊: 音声 ON/OFF



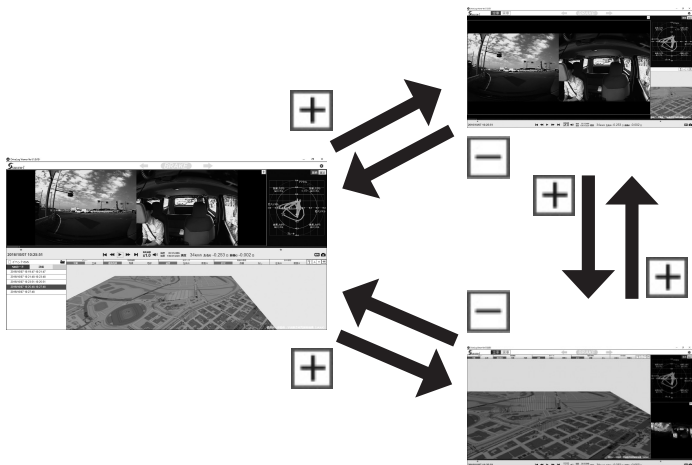
各ボタンをクリックすると、その動作を行います。

- ・ **x1.0** をクリックし、再生速度調整バーをドラッグすると再生速度を変更できます。  
※ [0.1] / [0.5] / [1.0] / [2.0] / [3.0] / [5.0] の6段階で変更できます。
- ・ 🔊 をクリックし、音量調整バーをドラッグすると音量を調整できます。音量調整バー内の 🔊 をクリックすると、再生音声の ON と OFF が切り替わります。
- ・ シークバーの先端をドラッグすると、任意の時点から再生を開始できます。

STM シリーズ / DR シリーズ：

イベント発生時には、イベント発生前の 10 秒間をノーマル映像と重複して保存します。そのため、連続再生を行った場合には、イベント発生タイミングまで再生すると、映像が 10 秒間戻って再生されます。

- 映像表示エリアまたはマップ右上の **+** をクリックすると、表示を最大化することができます。最大化状態で **□** をクリックすると、元の大きさに戻ります。最小化状態で **+** をクリックすると、最大化表示になります。



## ファイル形式を変換する・特定の場面をキャプチャする

- MP4** をクリックすると、現在選択中の録画ファイルから映像のみを mp4 形式で保存できます。
- 📷** をクリックすると、現在の【DriveLog Viewer】画面を jpg/png/bmp 形式で保存できます。





# マップ

## 自転車位置表示変更メニュー

録画ファイルを選択すると、マップ上に自転車のアイコンと軌跡が現れます。自転車位置表示変更メニューを操作し、マップの拡大倍率、向き、自転車の位置を好みの状態に変更します。



自転車位置表示変更メニュー

	マップの上が常に北を向くように固定されます。
	マップの拡大 / 縮小ができます。

### マウス操作

- 左ボタンドラッグで、視点の向きと高さを変更できます。
- 右ボタンドラッグで、現在の視点のままマップを平行移動できます。
- ホイールを回転させると、マップの拡大 / 縮小ができます。

マップの平行移動は、再生停止中のみ可能です。

録画ファイルの再生中は、自転車アイコンが常に画面中央に位置するように、マップが平行移動します。



## マップ表示メニュー

マップの表示方法を選択します。



マップ表示メニュー

ビュー	平面	マップを平面的に表示します。
	立体	マップを立体的に表示します。
地図種類	道路地図	マップを道路地図で表示します。
	写真	マップを航空写真で表示します。
	地形	マップを地形図で表示します。現在の縮尺で地形図が存在しない場合は、道路地図を表示します。
針データ	速度	〔軌跡の表現〕で〔針状〕を選択しているときに、速度の推移を表示します。
	左右 G	〔軌跡の表現〕で〔針状〕を選択しているときに、左右 G の推移を表示します。
	前後 G	〔軌跡の表現〕で〔針状〕を選択しているときに、前後 G の推移を表示します。

軌跡の表現	針状	<p>〔針データ〕の値の大きさを針の長さ、色で表示します。 〔針の傾き〕で〔左右 G〕または〔前後 G〕を選択している場合は、針の傾きで G の方向と大きさを表示します。</p> <p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・針の長さ 短 長</li> <li>・針の色 青 緑 赤</li> <li>・車両の速度 遅(0km/h) (50km/h) 速い(100km/h~)</li> <li>・左右・前後G 小(0G) (0.2G) 大(0.4G~)</li> </ul> </p>
	点線	〔針データ〕の値の大きさを色で表示します。
	なし	〔針データ〕の値を表示しません。
針の傾き	左右 G	〔針の傾き〕で〔針状〕を選択しているときのみ表示されます。左右 G の大きさと方向を、針の傾き角度と長さで表示します。
	前後 G	〔針の傾き〕で〔針状〕を選択しているときのみ表示されます。前後 G の大きさと方向を、針の傾き角度と長さで表示します。

# 加速度円グラフ

## G センサーの加速度計測値を確認する

録画ファイルごとに、Gセンサーによる前後左右の加速度計測値を確認できます。

〔累積〕：

現在選択中の録画ファイルに記録されている、Gセンサーによる計測分布を表示します。

〔直近〕：

再生中の現時点での計測分布を表示します。

白点：

現時点（最新）の計測ポイントを示します。

水色または青色の軌跡：

過去の計測ポイントを示します。昼間は水色、夜間は青色で表示されます。

★印：

危険運転と判断された計測ポイントを示します。

Gセンサー計測値が★印運転基準値設定を超えると、危険運転と判断され★印になります。

クリックすると、★印の発生前5秒（初期値）以降の映像を再生します。

★印運転基準値設定および★印運転動画再生時間は〔ソフトウェアの設定〕で変更できます。（23ページ参照）

例 1



例 2



## 設定を変更する

⚙️をクリックすると、設定変更画面に移行します。  
〔ドライブレコーダーの設定〕〔ソフトウェアの設定〕のタブをクリックし、目的の設定を変更します。

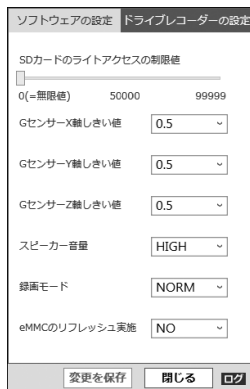
※「ドライブレコーダーの設定」は、SDカード内、“Config.log”（STXシリーズ）/“Config.txt”（STMシリーズ）/“Config.dat”（DRシリーズ）に保存されません。SDカードを使用せずにeMMC（本体メモリ）のみで運用している場合は、「ドライブレコーダーの設定」の変更ができません。

※設定を変更した場合は、必ず〔変更を保存〕をクリックして保存してください。



### ドライブレコーダーの設定（STXシリーズ）

- SDカードのライトアクセスの制限値  
SDカードへの書き込み回数の上限を設定します。
- Gセンサー X軸 / Y軸 / Z軸しきい値  
Gセンサーでの計測時に、イベント録画を開始する衝撃を判断する値（=しきい値）を、X軸 / Y軸 / Z軸で個別に設定します（値は0.05刻みで設定が可能です）。
- スピーカー音量  
ガイダンス音声のボリュームとマイクで集音した音声のボリュームを、〔OFF〕〔LOW〕〔MID〕〔HIGH〕から設定します。
- 録画モード  
SDカードの枚数や容量によって、録画モードを〔NORM〕〔LONG5〕〔NORM10〕から設定します。



- eMMC（本体メモリ）のリフレッシュ実施

※eMMC（本体メモリ）のリフレッシュを行うと、eMMC（本体メモリ）内の記録データは全て削除されます。

[YES] を選択すると、eMMC（本体メモリ）のフォーマットを行います。

次回本体起動時に、設定を変更したSDカードが挿入されていた場合、“eMMCのリフレッシュを開始します”というガイダンスが流れ、eMMC（本体メモリ）のリフレッシュが実行されます。

※6か月に一度のリフレッシュをお勧めしますが、一回リフレッシュしたら [YES] から [NO] に戻してください。戻さないと、毎回本体起動時に“eMMCのリフレッシュを開始します”というガイダンスが流れ、eMMC（本体メモリ）がリフレッシュされてしまいます。

## ドライブレコーダーの設定（STMシリーズ）

- フレームレート設定

録画時のフレームレートを [30fps] / [10fps] / [5fps] から設定します。

数値が大きいくほど滑らかな映像になりますが、コマ数が増加するため録画可能時間は短くなります。

※フレームレートを変更すると、SDカード内のデータが全て消去されます。フレームレートを変更する前に、必ずデータのバックアップをしてください。

- 速度警告

速度超過警告を行う速度を [100km/h] / [80km/h] / [60km/h] / [OFF] から設定します。

- Gセンサー感度

Gセンサーの感度を [5] / [4] / [3] / [2] / [1] / [OFF] から設定します。数値が大きいくほど高感度になります。

- スピーカー音量

警告音や録画音量を [3] / [2] / [1] / [Mute] から設定します。数値が大きいくほど音量が大きくなります。

ソフトウェアの設定	ドライブレコーダーの設定
フレームレート設定	10fps
速度警告	OFF
Gセンサー感度	3
スピーカー音量	3
マイク音量	2
速度表示	Km/h

変更を保存    閉じる    OK

- マイク音量  
録画時に拾う外部の音量を [3] / [2] / [1] / [OFF]  
から設定します。  
数値が大きいほど音量が大きくなります。
- 速度表示  
走行速度の表示単位を [km/h] / [MPH] / [OFF]  
から設定します。

## ドライブレコーダーの設定 (DR シリーズ)

- 速度表示  
走行速度の表示単位を [km/h] / [MPH] から設  
定します。
- 画質  
録画時の画質を [High] / [Normal] / [Low]  
から設定します。
- G センサー感度  
G センサーの感度を [5] / [4] / [3] / [2] / [1]  
から設定します。  
数値が大きいほど高感度になります。
- 音声録音  
録画時の音声録音を [ON] / [OFF] から設定し  
ます。

ソフトウェアの設定	ドライブレコーダーの設定
速度表示	Km/h ▾
画質	High ▾
Gセンサー感度	1 ▾
音声録音	OFF ▾

変更を保存    閉じる    ログ

## ソフトウェアの設定

### ★印運転基準値設定

加速度円グラフ内に表示される軌跡で、危険運転と判定される基準値を設定できます。

この基準値を超えると★印が表示されます。

この基準値は、加速度円グラフ内には表示されません。

### ★印運転動画再生時間

★印をクリックしたときに、映像を再生する時間を設定できます。

(★発生の前を含めた合計時間となります。)

例：30秒と設定した場合

★発生前 15秒 + ★発生後 15秒 = 合計 30秒

### 運行の区切りとなる空白時間

例えば「午前中の運行」と「午後の運行」それぞれをひとかたまりの記録としたいときなど、記録を区切る間隔を設定することができます。

### 一運行の最大時間

例えば「運転時間 2時間」で自動的に記録を区切りたいときなど、ひとかたまりとなる最大の記録時間を設定することができます。

一運行中の連続記録時間がこの設定時間を超えた場合は、“設定時間を跨いだ録画ファイル”から次の運行と判断されます。

### 地図表示

DriveLog Viewer のメイン画面に、地図を表示するか設定できます。

ソフトウェアの設定 ドライブレコーダーの設定

★印運転基準値設定  
0.3 G以上 (0.1~0.5)

★印運転動画再生時間  
10 秒 (10~30)

運行の区切りとなる空白時間  
60 分 (0~9999)

一運行の最大時間  
1 時間 (1~13)

地図表示  
 ON ※有効にするにはアプリの再起動が必要です。  
 OFF

起動時に確認する

動画先読み  
 ON  
 OFF

車種選択  
 タクシー  
 タクシー以外

作業用フォルダ変更

初期値に戻す 参照

プロキシ設定 ※有効にするにはアプリの再起動が必要です。  
 プロキシを使わない  
 自動構成スクリプトを使用する  
アドレス   
 プロキシサーバを使用する  
アドレス  ポート

- 動画先読み

フォルダ選択時に、フォルダ内の録画ファイルを先にすべて読み込むかどうかを設定できます。

〔ON〕にすると、連続する録画ファイルを再生する際に切れ目なく再生できます。〔OFF〕にすると、1つの録画ファイルの再生が終了したあと、次のファイルを読み込んでから再生します。

- 車種選択 (STX シリーズのみ)

〔タクシー〕を選択すると、空車 / 実車のインジケータが表示されます。



- 作業用フォルダ変更

『作業用フォルダ』を設定すると、録画ファイル選択時に開くフォルダを指定できます。

- プロキシ設定

外部ネットワーク接続にプロキシを使用している場合は、詳細を設定できます。



# 付録

## 録画可能時間の目安

※ 1：機種によっては、128GB の SD カードが非対応となります。ご使用機種の取扱説明書をご確認ください。

※ 2：録画時間は、場所・天候・昼夜・周囲の環境や明るさによって変わります。下記の録画時間は、あくまで目安とお考えください。

STX シリーズ		SD カード容量			
		16GB	32GB	64GB	128GB
通常録画モード (NORM) (30fps)	1枚使用時	約 4 時間	約 7 時間 30 分	約 15 時間	約 29 時間 30 分
	2枚使用時	約 4 時間	約 7 時間 30 分	約 15 時間	約 29 時間 30 分
長時間録画モード (LONG10) (10fps)	1枚使用時	約 10 時間 30 分	約 21 時間	約 42 時間	約 83 時間 30 分
	2枚使用時	約 21 時間	約 42 時間	約 83 時間 30 分	約 165 時間
長時間録画モード (LONG5) (5fps)	1枚使用時	約 21 時間	約 42 時間	約 83 時間 30 分	約 165 時間
	2枚使用時	約 42 時間	約 84 時間	約 167 時間	約 330 時間

メモリー容量は、Normal, Event にダイナミックに割り当てられます。

STM シリーズ		SD カード容量							
		16GB		32GB		64GB		128GB	
		normal	event	normal	event	normal	event	normal	event
STM-101	5fps	約 10 時間	約 3 時間	約 20 時間	約 7 時間	約 40 時間	約 15 時間	約 81 時間	約 30 時間
		10分	50分	20分	40分	40分	20分	20分	40分
	10fps	約 8 時間	約 2 時間	約 16 時間	約 5 時間	約 32 時間	約 11 時間	約 65 時間	約 22 時間
		10分	50分	20分	40分	40分	20分	20分	40分
	30fps	約 2 時間	約 1 時間	約 5 時間	約 2 時間	約 10 時間	約 4 時間	約 21 時間	約 8 時間
		40分	20分	20分	40分	40分	20分	20分	40分
STM-102	5fps	約 6 時間	約 2 時間	約 13 時間	約 5 時間	約 26 時間	約 10 時間	約 53 時間	約 20 時間
		40分	30分	20分	40分	40分	20分	20分	40分
	10fps	約 5 時間	約 1 時間	約 10 時間	約 3 時間	約 20 時間	約 7 時間	約 41 時間	約 14 時間
		10分	50分	20分	40分	40分	20分	20分	40分
	30fps	約 1 時間	約 3 時間	約 3 時間	約 1 時間	約 6 時間	約 2 時間	約 12 時間	約 4 時間
		30分	約 35分	10分	10分	20分	20分	40分	40分

メモリー容量の割り当て Normal : 70% Event : 27% Config : 2% Log : 1%

DR-210WH		SD カード容量							
		16GB		32GB		64GB		128GB	
		normal	event	normal	event	normal	event	normal	event
Low	約 3 時間 50 分	約 1 時間 30 分	約 7 時間 50 分	約 3 時間 10 分	約 15 時間 40 分	約 6 時間 40 分	約 31 時間 40 分	約 13 時間 30 分	
Normal	約 3 時間 10 分	約 1 時間 20 分	約 6 時間 30 分	約 2 時間 40 分	約 13 時間	約 5 時間 30 分	約 26 時間 20 分	約 11 時間 10 分	
High	約 2 時間 50 分	約 1 時間 10 分	約 5 時間 50 分	約 2 時間 20 分	約 11 時間 40 分	約 4 時間 50 分	約 23 時間 30 分	約 10 時間	

メモリー容量の割り当て Normal : 75% Event : 25%

DR-210/220		SD カード容量							
		8GB		16GB		32GB		64GB	
		normal	event	normal	event	normal	event	normal	event
Low	約 12 時間 20 分	約 3 時間 40 分	約 25 時間 20 分	約 8 時間	約 51 時間 20 分	約 16 時間 40 分	約 103 時間 30 分	約 34 時間	
Normal	約 6 時間 10 分	約 1 時間 50 分	約 12 時間 40 分	約 4 時間	約 25 時間 40 分	約 8 時間 20 分	約 51 時間 40 分	約 17 時間	
High	約 3 時間	約 55 分	約 6 時間 20 分	約 2 時間	約 12 時間 50 分	約 4 時間 10 分	約 25 時間 50 分	約 8 時間 30 分	

メモリー容量の割り当て Normal : 75% Event : 25%





～ safety product ～

## 株式会社 シルバーアイ

シルバーアイカスタマーサポートセンター  
〒 222-0033

神奈川県横浜市港北区新横浜 2-14-2

KDX 新横浜 214 ビル 5F

TEL:045-548-8952 FAX:045-548-8953

受付：10:00 ～ 12:00 13:00 ～ 17:00

(土・日・祭日・当社休日を除く)

<http://www.silver-i.co.jp/>